事例No.	2584
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人八代地域活性化協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・交通事業 ・地域運営組織 ・ICT

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

特定非営利活動法人八代地域活性化協議会

出典

平成27年度ふるさとづくり大賞事例集

特定非営利活動法人八代地域活性化協議会　富山県氷見市

概　要

高齢化と人口減少による民間事業者の路線バスの廃止、市営バスの見直しを機に地域住民の交通手段確保と環境を守り、元気で魅力ある地域づくりに寄与することを目的に、NPO法人八代地域活性化協議会を設立し、無線システムを活用した環境パトロールとコミュニティバスの運行を行っている。



評価された点

・過疎化と高齢化が進む地域の消滅を避けるためにも住民の足を確保することが必須である。無線システムを活用したコミュニティバスの運行は和製ウーバーであり、高齢者の見守りや社会参加をはじめ、これからの地域づくりの一つのあり方として注目される。
・公共交通を利用し、外出の機会を増やしていくことは、必須でありながら、なかなか安定した経営と結びつかず、地域づくりとしての悩ましき課題が大きい中で、利用度を高めるための様々な工夫を実践されている。特に人が寄り合うための知恵等を合わせて、ハードとソフトの手法を評価。
・コミュニティバスが単なる交通手段ではなく、「走る公民館」として地域住民にとっての交流の場となり、家に閉じこもりがちなお年寄りの外出機会増加につながっている点が注目される。無線システムを使った外出補助、運転手を地域内からの雇用など地域住民が一体となってバス運営に取り組み、継続させている点も高く評価。



特定非営利活動法人能登ネットワーク　石川県能登町

概　要

能登一円の有志が集まり、前身の団体を発足させ、能登の可能性を検討する組織として設立。能登空港が開港する年に現法人として法人化した。能登半島と首都圏をつなぐ取組として、東京・銀座での「居酒屋のとだらぼち」の開業をはじめ、都内からの地酒列車運行等、様々な企画を実施。近年は、能登の食の魅力を語り部と共に東京に出前する「東京DEMAE能登半島」などを実施。



評価された点

・能登空港の開設や新幹線の開通を積極的に捉えながらも、多くの地域消滅市町を抱える能登地区にあって、能登の可能性を広域的に検討する組織を設立し活動していることを評価。
・北陸新幹線等の話題が集まる一方で、「人が出て行く」勢いも加速している能登半島。豊かな資源を再認識し、理解者を広げて確実で安定的な地域の仕事づくりに結びつけようとしている点を評価。
・地域と都会（東京）を繋ぎ、交流を促進する好事例。
・首都圏に能登の魅力を発信するために、居酒屋を開店し能登地酒列車を運行している。単に情報発信を行うだけでなく、能登空港の利用促進、能登への訪問を増やすことを目指しているところがユニーク。
・域内での活動にとどまらず、東京への出店など意欲的で本気さを感じる。

